

## 会 議 録

会議の名称	第 9 回那珂川市文化芸術推進審議会		
開催日時	令和 6 年 3 月 13 日(水) 19:00～20:30	開催場所	中央公民館 講堂
出席者	<p>1. 委員 須川委員、田北委員、長津委員、簗原委員、柴田委員、森委員、鳥部委員、関岡委員</p> <p>2. 執行機関(事務局) 吉岡文化振興課長、藏菌文化振興課文化振興担当係長、神代文化振興課文化振興担当主査</p> <p>3. その他 株式会社地域計画建築研究所(コンサルタント) 2 名</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 パブリック・コメント実施結果について</li> <li>・資料2 文化芸術推進計画(案)</li> <li>・資料3 文化芸術推進計画 概要版(案)</li> <li>・追加資料 5 章計画の推進修正(案)</li> </ul>		
公開区分	開示 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一部開示</span> ・ 非開示 (理由:情報公開条例第 9 条第 2 号に該当)		
<p>議題及び審議の内容</p> <p>1. 第 8 回審議会の振り返り (株式会社地域計画建築研究所より説明)</p> <p>[会 長]: 何かご意見等あればお願いしたい。</p> <p>[各委員]: 意見なし。</p> <p>[会 長]: 特に無いようであれば、那珂川市文化芸術推進計画に移りたい。</p> <p>2. 那珂川市文化芸術推進計画について</p> <p>(1) パブリック・コメント実施結果について (市文化振興課より説明)</p> <p>[会 長]: 何かご意見等あればお願いしたい。</p> <p>[会 長]: 番号 2 の意見に書かれている古墳カフェとは何か。</p> <p>[事務局]: 古墳カフェとは、文化振興課が開催している国史跡安德大塚古墳の現地見学を行い、その後、博多南駅前ビルで古墳の形をしたサンドイッチを作るものである。歴史を学びながら食も合わせて楽しむ。過去に何度か実施したことがあるが、コロナ禍は実施されておらず、久しぶりに開催したものである。</p> <p>[会 長]: 個人的に、大学のフィールドワークで大阪に行ったときに、自治体が古墳の魅力をどのように伝えるかということに取り組みされていた。</p> <p>[委 員]: 番号 2 の意見の最後の 5 行は具体的な提案が書かれている。5 行の提案に対してどのように計画書に入れるかが書かれていない。意見を汲み</p>			

取るため、ツアーという言葉を書き入れるなどできないか。例えば、18 ページの取り組みの例の歴史を感じられる体験活動の実施の中に「歴史を体験するツアー」等の言葉を入れるなど工夫をすればよいのではないか。ツアーは市の事業ではないということか。

[事務局]：ツアーは市の事業ではない。意見の提出者は独自に史跡巡りなど行っている団体の一員であり、今後、回答の内容のような形で協力が得られると受け取った。回答者の所属している団体は普段から頻繁に意見交換などのやりとりをしているので、直接意見に答えられる状況である。ツアーに関しては、今後直接相談をしていきたい。

## ① 第2章 文化芸術推進計画（案）について

### 5章 推進体制について（市文化振興課より説明）

[会長]：何かご意見等あればお願いしたい。

[委員]：最後の文章で下から2行目の「文化芸術に触れる機会の充実」に続く文は「や」で繋がっているが並列の内容になっていない。「機会の充実することを目指し」などという主従関係にするとよい。

[委員]：最後の締めの言葉が「目指します。」なので「機会の充実することを目指し」は変えたほうがよい。また、ミリカローデン那珂川の事業運営の方向性の見せ方は、追加資料の方が良いと思う。

[事務局]：前回の審議会後に、委員から5章と計画との繋がりや広がりや伝わりづらさの状態であった。事業運営の中で、ミリカローデン那珂川の基本方針に沿ったものや、現在行われている、リニューアル事業を基に新たなコンセプトが増えた。既に行っている事業と新たなコンセプトは矢印で段々と広がるような表現にし、そして計画の策定により更に充実を図っていくという方向性がわかるように表現した。7ページの第2章の中に「成長する文化施設」と謳っているので、成長しているということがわかるような表現にしたいと追加資料分を新たに作成し、原案と併せて、2案提案をした。

[委員]：先ほどの委員の意見を踏まえ「文化芸術に触れる機会をさらに充実することを目指し」という文に変更するのはどうか。

[委員]：目指しが続くので、「文化芸術に触れる機会をさらに充実させ」にしたらどうか。

[委員]：前の文と同じ「充実」で終わる文が続くことになる。

[事務局]：前後の文も考えて事務局にて、修正させていただきたい。前回いただいた指摘を審議会までにメールでやりとりを行い、すべて反映している。今後の進め方として、修正などの対応方法はこの場で確定させていきたい。修正の方法は事務局で責任を持って行う。

[会長]：計画全体を通して事務局から何か説明はあるか。

文化芸術推進計画（案）全体について（市文化振興課より説明）

[会 長]：何かご意見等あればお願いしたい。

[委 員]：7 ページのミリカローデン那珂川の写真がイメージパースになっているが、実際の写真に変更はするのか。

[事務局]：イメージパースのままです。

[委 員]：各章のタイトル下のグレーマーカーで書かれているリード文の最後に「。」はいらない。すべてのページから外してよい。19 ページ、既存事業の継続、更新の中の「文化芸術以外の分野での」と書かれているが、「以外」ではなく「関連」に変更するのではないか。社会包摂の定義はどこから持ってきたものか。「人々をも含め市民一人一人、」という表現に違和感がある。「社会の一員として取り込み」という表現も気になる。もう少し、社会包摂的な書き方ができるのではないか。

[事務局]：「以外」という表現をすべて改めたつもりだったが、漏れていた箇所があった。修正を行う。

[委 員]：19 ページの新規事業案の序内における連携強化の 1 行目、「考え方推進等」は、「考え方の推進等」に改めたらどうか。24 ページの下 2 つのグラフは円グラフのほうがわかりやすいのではないか。全部足したら 100%になると思う。

[委 員]：22 ページの目標指標で、一番下の文で「箇所があるため」という言葉に違和感がある。その後の文で「平成 30（2018 年）年の数字」は基準値の数字が平成 30 年の数字ということか。

[委 員]：※がついている数字が平成 30 年という意味ではあるが、伝わりづらい。

[委 員]：効果検証を実施すると書いてあるが、市民に効果検証の結果を示すことは表記しないのか。自明のことなので、表記する必要もないのか。今日、他の市で、効果検証の実施を市民にどのように見せるのかという話し合いを行った。

[事務局]：公開については、当然公開していく予定である。あえて書かなくてもよいという判断だった。

[委 員]：審議会は令和 6 年以降、年に 1.2 回ほど行われる予定だが、来年度は何月に開催するか決まっているか。

[事務局]：1 回目は 6 月、2 回目は 2 月を予定している。1 回目は計画をどのように進めて行くのかという話し合いを行い、2 回目は結果を報告する予定である。

[委 員]：22 ページの下の文で「制限されている場所がある」に変更するとどうか。「参考として影響がなかった」の記載がわかりづらい。「平成 30 年の数値を参考として記載しています。」でよいのではないか。

[事務局]：箇所より場所のほうが伝わりやすいと思う。

[委 員]：35 ページは公募委員のみ役職がないのはどうなのか。市民代表ではあるが、専門家でもある。

[委 員]：市民代表なので役職はなくて良い。

[事務局]：所属のみ記載させていただく。

(3) 文化芸術推進計画 概要版(案)について（市文化振興課より説明）

[会 長]：何かご意見等あればお願いしたい。

[委 員]：基本方針 3 つの新規事業案など、具体的な事業を書くときよいのではないかな。

[事務局]：最終面に具体例を記載している。

[委 員]：記載する順番を変えて、具体的な事業を中に入れるときよいのではないかな。

[委 員]：概要版も第 5 章同様に追加資料の様に変更するのか。

[事務局]：概要版も修正を反映させる予定である。

[委 員]：「計画を推進するために」の文量が割合として多い。計画の中身を知ってもらえるもので、ミリカローデン那珂川の説明の概要版ではないので、他市の概要版のようなこどもが見てもわかる内容だときよいのではないかな。

[委 員]：柳川市の文化芸術推進基本計画策定の事務局をしていたときに、こどもでもわかるようにしてほしいという意見があったので、柳川市はこのような形になった。

[委 員]：見開きの左端の「NAKAGAWA CITY CULTURE AND ARTS」は那珂川市文化芸術推進計画と同じ意味なのか。意味がない装飾なのであれば、別の表記がよいのではないかな。内部で検討をしていただきたい。

[委 員]：問い合わせ先は計画書と概要版に載っていないが、掲載しないのか。冊子では、クレジット表記されていることが多い。

[事務局]：那珂川市の発行物は、発行している課のみを載せることが多いが、確認する。

[委 員]：大きなタイトルはとっかかりやすく優しい表現になっているのに、タイトルの下の文は伝わりづらい内容になっている。「文化芸術と関わる人との対話」という文よりも 13 ページ 3 段目の「文化芸術は特定の人のものではありません」という始まりの文のほうがわかりやすい。計画から抜粋するのであれば、順番や配分が大事で、すべての文を抜粋するよりは、図式化などわかりやすい表現にしてほしい。

[会 長]：わかりやすい文言が計画内にもあるので、選んで抜粋をすればよい。その他、意見がある方はいるか。

[委 員]：全体的に文字が多いので、文字を少なくしてわかりやすくできないか。

[事務局]：事務局・原案の概要版は本編の要約になっている。本編とは別のことを言うわけにはいかないなので、わかりやすさを重視するのであれば文を精査し、必要であれば、言い方を変えるなど検討したい。今日伺いたいこととしては、概要版の基本的な構成である。すでに意見をいただいた、「計画を推進するために」の部分はボリュームが大きいので修正する必要があり、対応をする。施策の展開の部分では、繋がりを考えるの

であれば、見開きの中に入れるとよいと思う。基本的な構成はこのよう  
な形で対応するという修正でよいか。

[委 員]：概要版はどういう役割なのか。

[事務局]：計画本編は広く市民の方が読むものというよりは、本市の文化芸術に  
関心のある人などが見られるものだと考える。概要版は広く市民の方  
が手に取り、計画の概要や文化芸術に興味や関心をもつきっかけとし  
ての役割がある。

[委 員]：きっかけや興味を持たせる目的であれば、今の概要版は興味を湧かせ  
るというものではないように思う。

[委 員]：計画に入っている写真を活用する方法もあるのではないか。他市では  
新規事業に力を入れたかったので、概要版にも新規事業を散りばめた。  
そのほか、空白を作って載っている文字はキャッチーにするなどの方  
法があるのではないか。

[委 員]：表紙は概要版と本編で変えることはできないのか。

[委 員]：基本理念を表紙に大きく載せる方法も面白い。

[会 長]：レイアウトやデザインを工夫することはできるのか。

[委 員]：表紙にポイントになる言葉を上に入れるなどできるのではないか。

[委 員]：まったく同じ表紙なので少し違いを入れるとよい。

[委 員]：このままの表紙だと難しいものを感じる。

[会 長]：見せ方を工夫してキャッチーでわかりやすくなるとよい。

[事務局]：いただいた意見を踏まえて内容を固めていく。

### 3. その他

今後のスケジュールについて（市文化振興課より説明）

[会 長]：何かご意見等あればお願いしたい。

[会 長]：以上をもって第9回那珂川市文化芸術推進審議会を閉会する。